



すみれ通信 105号

すみれ通信は、医療・介護に携わる方に発信しています

〒 251-0032

藤沢市片瀬339-1

藤沢市医師会館

在宅医療支援センター

☎ 0466-41-9980

Fax 0466-41-9981

メールアドレス fuji-zaitaku@movie.ocn.ne.jp

3月



第3回 市民公開講座を開催しました

令和6年2月3日(土) 辻堂公民館

講師 湘南ホスピタル 奥野滋子 医師

参加 65名



アンケート
回収結果から
55名



自分らしい最期を迎えるために
考えておきたいこと
人生会議って何?

参加者の地区	総数	一般市民	医療介護関係	無記入
湘南大庭	1		1	
遠藤	1	1		
片瀬	1	1		
鶴沼	5	2	2	1
辻堂	18	13	5	
明治	7	7		
六会	4	2	2	
善行	2	2		
藤沢	7	4	3	
長後	1	0	1	
湘南台	2	0	2	
村岡	1	1		
その他	5	3	2	

参加者の年代	総数	一般市民	医療介護関係	未記入
30代	2		2	
40代	6	2	4	
50代	11	4	7	
60代	9	6	2	1
70代	18	15	3	
80代	9	9		

項目	総数	一般市民	医療介護関係
大変良かった	49	31	18
まあまあ良かった	6	5	1

【記載して頂いたご意見の抜粋】

- ・大変良い内容だったと思います。ぜひ各地区でも開催していただきたいです。
- ・在宅医療の先入観がなくなった。今日の講演をきっかけに帰って両親とコミュニケーションを取りたい。
- ・本人の意志(意思)を普段から聞いておくことが大切ということ。
- ・夫の親を含め4人の死と向き合いました。先生の事例にもいろいろな方が出てきましたが、本当に人それぞれなのだと思います。その為にも自分の死を考え行動しようと思います。
- ・周りへの理解を得るのが大切だと思った。
- ・治療だけでなく生き方死に方をもっと考えていこうと思った。これらの声があり講座は好評でした。

第2回 地区別懇談会を開催します。

開催: 令和6年3月16日(土)

時間: 14:00~16:30

場所: 藤沢市 善行公民館 3階ホール

テーマ: 「災害が発生した時、私たちはどう行動
したらいいのか?」

対象: 医療・介護関係者等 60名程度
詳しくはホームページをご覧ください。



藤沢御所見病院地域包括ケア病棟

藤沢御所見病院は、地域包括ケア病床、療養病床、在宅療養支援病院の機能を持つ地域の中核病院です。

当院の地域包括ケア病床の対象は、急性期治療を終了した急性期病院からの早期の受け入れと、クリニック、在宅診療、訪問看護を利用する方や施設からの高齢者救急の受け入れです。誤嚥性肺炎、尿路感染、食事摂取量の低下、癌の末期などの入院相談が多く、在宅復帰に向けてのリハビリや療養先の支援、症状コントロールやお看取りも行ないます。

どうしたら地域、在宅で暮らしていけるかを、Dr、Ns、SW、PT、OT、ST、CWなどの専門職と、地域の医療、介護担当の方々や、ご家族と共に考え、必要な介護や医療を共有していきます。入院時には自宅で生活する事が考えられないと話した方が、入院期間の60日の中でご自宅へ退院できることもあります。お気持ちの変化には様々な理由がありますが、「困ったら入院相談に乗ってもらえると話してもらえたから」とよくお聞きします。

入院患者様は独居、老老介護、お仕事をされているお子様が主介護者など、何か困った時のバックアップがあることが、在宅への後押しになるのだと思います。

しかし、私たち病院の力はほんの一部であり、地域の先生、看護、介護従事される方のお力で在宅復帰ができると考えています。

平均入院期間は30日、在宅復帰率は83%前後です。地域の先生方から、「今は必要ないけれど、症状が進んだ時には入院をお願いしたい」とご相談を頂きます。入院前から情報交換し、ご本人、ご家族に入院案内をしておく事で、お互いに安心して入院となります。このような連携関係が地域包括ケアシステムであり、私達は大切にしていきたいと考えています。

また、当院には耳鼻咽喉科、皮膚科、糖尿病代謝内科の常勤医師がおり、嚥下評価、褥瘡、血糖コントロールや糖尿病教育入院なども地域包括ケア病床での対象となりますので、ご相談下さい。

